

小松島市江田町 地区防災計画

《地震・津波・洪水について》



川東地区と川西地区とを結ぶ江田潜水橋

令和5年3月

小松島市江田町自主防災会

目次

| | | |
|----|----------------------------|------|
| 1 | 計画策定に至った経緯 | P.1 |
| 2 | 計画対象地区の範囲 | P.1 |
| 3 | 活動目標 | P.2 |
| 4 | 地区の特性 | P.3 |
| 5 | 地区の災害履歴及び想定される災害 | P.4 |
| 6 | 平常時の活動 | P.8 |
| 7 | 避難情報と河川水位情報 | P.12 |
| 8 | 発災後の活動 | P.14 |
| 9 | 津波・大雨・土砂・高潮時の一時避難場所・避難目標地点 | P.16 |
| 10 | 課題，問題点 | P.19 |
| 11 | 今後の活動目標 | P.20 |



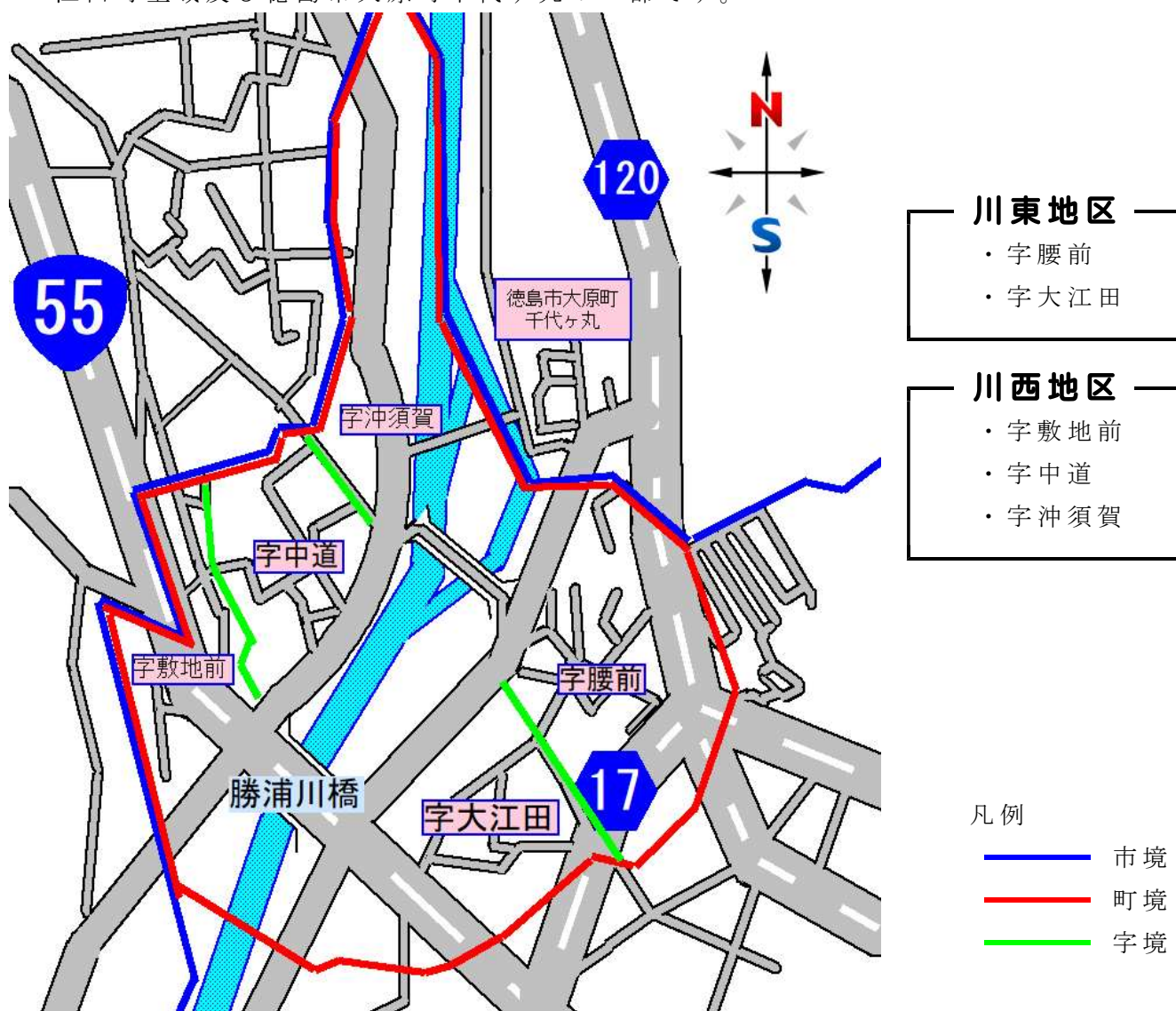
1 計画策定に至った経緯

平成 17 年 3 月に江田町自主防災会は結成されましたが、ほとんど活動されないまま、休止状態となっておりました。しかし、平成 30 年 8 月に地域住民の要望により、江田町協議会が中心となり再結成されました。

原則年 10 回の役員会（27 名）で協議する中、江田町でも地震、津波、豪雨による勝浦川の氾濫等の問題が挙げられ、一時避難場所の確保、風雨をしのげる避難場所等等、多くの解決策を考えなければならず、市、県に対しても対策を要望すると共に、住民が行える事、自主防災会が行う事を積極的に実施し、町内の住民が全員無事に避難できるようにするため、令和 5 年 3 月「小松島市江田町地区防災計画（地震・津波・洪水について）」を作成しました。

2 計画対象地の範囲

江田町全域及び徳島市大原町千代ヶ丸の一部です。



活動目標

活動目標は次の通りです。

3-1 住民の防災意識の向上。

江田町防災計画の概要版を各戸に配布，さらに自主防災会が発行する「会報」，江田町自主防災会ウェブサイト等により，江田町の現状を周知すると共に理解を求める。

江田町自主防災会会報 第5号 勝浦川両岸堤漏水問題に朗報 ～県が令和4年度本格事業化明言～

勝浦川の右岸（宇藤前，宇大江田），左岸（宇中道，宇野地前，宇中領渡）の両岸は，昔から大雨時にはいるな所で漏水が発生していると聞き及んでおります。近年の漏水状況（線状漏水等による大被害の発生）から，自主防災会では，県・市に対し，再三にわたり「勝浦川の整備，堤防の補強」を請願してまいりました。県が令和4年度から本格的な整備をするとなった要因は，令和2年10月9日台風14号による右岸堤での11ヶ所に及ぶ漏水でありました。早急な調査をお願いしたところ，県では河川の地質調査を実施すると共に，漏水の復旧，土砂の浚渫（現在も進行中），河川監視カメラの設置が実施されております。また，県におきましては，本年度以降の本格的な整備に伴う事前調査を早急にしたい申し出があり住民説明会を実施する予定でありましたが，新型コロナウイルスのため住民説明会は中止し，少数の役員が聞き取りを行い，念頭に資料を配付することでその内容をお知らせすることになりました。是非観望をご頂き，ご意見や質問がありましたらお申し出ください。（問い合わせ先：小松島市まちづくり推進課 TEL:32-3957）なお，この事業が2年10ヶ月で完了したのは，小松島市，地元通出の阿本県議，南部市議のご尽力が大いことを申し添えます。



① 橋ーリング構築 ② 勝浦川監視カメラ ③ 土砂の浚渫

※ 勝浦川監視カメラは2月中旬から稼働しています。江田町自主防災会ウェブサイト（<https://zisyubou.web.fc2.com>）でご覧いただけます。

江田町防災倉庫千代ヶ丸山に移転 ～水口吉之丞より倉庫等のご寄付を頂きました～

今まで防災倉庫は旧教員住宅付近の堤防斜面にありました。しかし，この場所では奥側に地震や津波，洪水が発生した場合に利用できるかが懸念しております。この際，水口吉之丞よりプレハブ倉庫をはじめ，調理具，食器等多岐のご寄付を頂き，千代ヶ丸山の高台に設置することを許可頂きました。この建を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。去る1月30日に自主防災会の役員で設置，移転作業を行いました。倉庫場所としてお貸し頂いている千代ヶ丸の商宅ですが，あくまで水口氏の私権地ですので，非寄附あるいは自主防災会の活動以外の立ち入りはご遠慮ください。

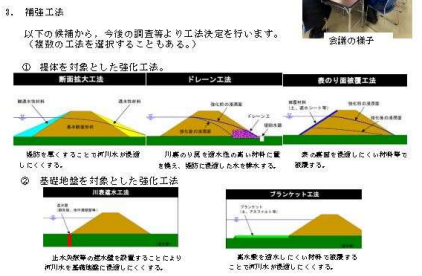


会報

二級河川「勝浦川」の堤防漏水対策について（報告）

令和4年2月18日に，自主防災会役員が徳島県土木整備部徳島庁舎を訪れ，小松島市職員も同席したうえで，徳島県河川課による備忘の件について説明を受けました。その内容は下記のとおりです。

1. 工事の種類
 勝浦川堤防の漏水対策は宇藤前及び宇大江田を含む右岸堤防から実施します。（人口集積等が左岸側より大きいため。）
2. 基本的な考え方
 漏水対策の基本的な考え方をお示しします。
 ① 堤の必要定規断面を確保する。（現在より大きくする。）
 ② 堤への排水量を減少させる。
 ③ 堤内からの排水機能を向上させる。
 ④ 堤を補強する。（治水せきなくする。）



4. 今後のスケジュール
 本年度は，調査（約6ヶ所）に向け，ご協

江田町自主防災会ウェブサイト
 (<https://zisyubou.web.fc2.com>)

3-2 地震・津波，洪水の発生に備え実行動の実施。

* 災害発生前の対策として個人・家族ですること，江田町自主防災会ですることを明確にし，積極的に実施します。

4

地区の特性

4-1 江田町の地理

江田町は小松島市の北西部に位置し，北は徳島市と隣接，町の中央には勝浦川（二級河川）が西から北東に流れ，町内は勝浦川を挟み，川西地区（字中道，字敷地前，字沖須賀）と川東地区（字腰前，字大江田）に二分されていますが，共に平坦な土地で田畑と住宅が混在しております。

近年，川東地区（字腰前，字大江田）には大型店舗の進出や四国横断自動車道の下部工事が始まり，町は三分化され，急速に様変わりしております。

4-2 江田町の人口

令和4年12月31日時点での世帯数・年齢階層別字別世帯人口の住民基本台帳人口は以下の通りです。

○総人口 **801人**（内訳 男 396人，女 405人）

○世帯数 **378戸**（混合世帯を含む）

○高齢化率 **33.8%**（内訳 男 30.5%，女 37.0%）

○年齢階層別

| | | | | | | | | | | | | | |
|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|-------|----|---------|----|
| 0才～4才 | | 5～9 | | 10～14 | | 15～19 | | 20～24 | | 25～29 | | 30～34 | |
| 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 |
| 6 | 10 | 7 | 13 | 19 | 13 | 20 | 24 | 25 | 20 | 19 | 14 | 10 | 6 |
| 35～39 | | 40～44 | | 45～49 | | 50～54 | | 55～59 | | 60～64 | | 65～69 | |
| 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 |
| 20 | 15 | 32 | 25 | 32 | 39 | 42 | 30 | 19 | 20 | 24 | 26 | 30 | 27 |
| 70～74 | | 75～79 | | 80～84 | | 85～89 | | 90～94 | | 95～99 | | 100～104 | |
| 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 |
| 32 | 42 | 25 | 31 | 15 | 18 | 13 | 18 | 6 | 6 | 0 | 6 | 0 | 2 |

○字別世帯人口

| | 世帯数 | 男 | 女 | 人口 |
|---------|------------|------------|------------|------------|
| 江田町字大江田 | 65 | 61 | 62 | 123 |
| 江田町字腰前 | 213 | 198 | 213 | 411 |
| 江田町字敷地前 | 69 | 92 | 89 | 181 |
| 江田町字中道 | 31 | 45 | 41 | 86 |
| 合計 | 378 | 396 | 405 | 801 |

（引用：住民基本台帳 令和4年12月31日）

5

地区の災害履歴及び想定される災害

5-1 江田地区近年の災害歴

5-1-1 平成16年10月 台風23号

10月13日9時にマリアナ諸島付近で台風23号が発生し、大型で強い勢力となって北上し、20日13時頃には強い勢力のまま高知県土佐清水付近に上陸。同日15時過ぎには室戸付近に再上陸し、近畿、東海地方に進み、21日3時に関東地方で温帯低気圧に変わった。

- ・ 期間降水量 四国、大分県で500mm以上
- ・ 江田町においても三差路交差点付近を中心に中田町池ノ内内外で17.9haの浸水、床上浸水3戸、床下浸水44戸の被害がありました。

5-1-2 平成26年8月豪雨

〈概要〉

- 1) 平成26年8月1日から5日までの台風12号による四国を中心とする大雨である。
- 2) 同年8月7日から11日までの台風11号による東海、近畿、四国地方などでの大雨である。

台風一過後も日本列島に停滞した前線がもたらした局地的豪雨（広島市安佐地区等で甚大な被害が発生した。）

〈被害〉

- 1) 小松島市でも多地区で浸水し、江田町で次頁図の通り浸水しております。
- 2) 台風11号、12号による降水量等

① 台風11号（8月7日0時～8月11日24時）

（ア）期間降水量

小松島市 350.5mm（8月7日8時30分～8月12日8時30分）

福原旭 817mm（8月7日0時～8月11日24時）

（イ）勝浦川水位（江田水位局）

最高値 5.13m（8月10日9時10分）

はん濫警戒情報（8月10日2時）

② 台風12号（7月30日0時～8月6日24時）

（ア）期間降水量

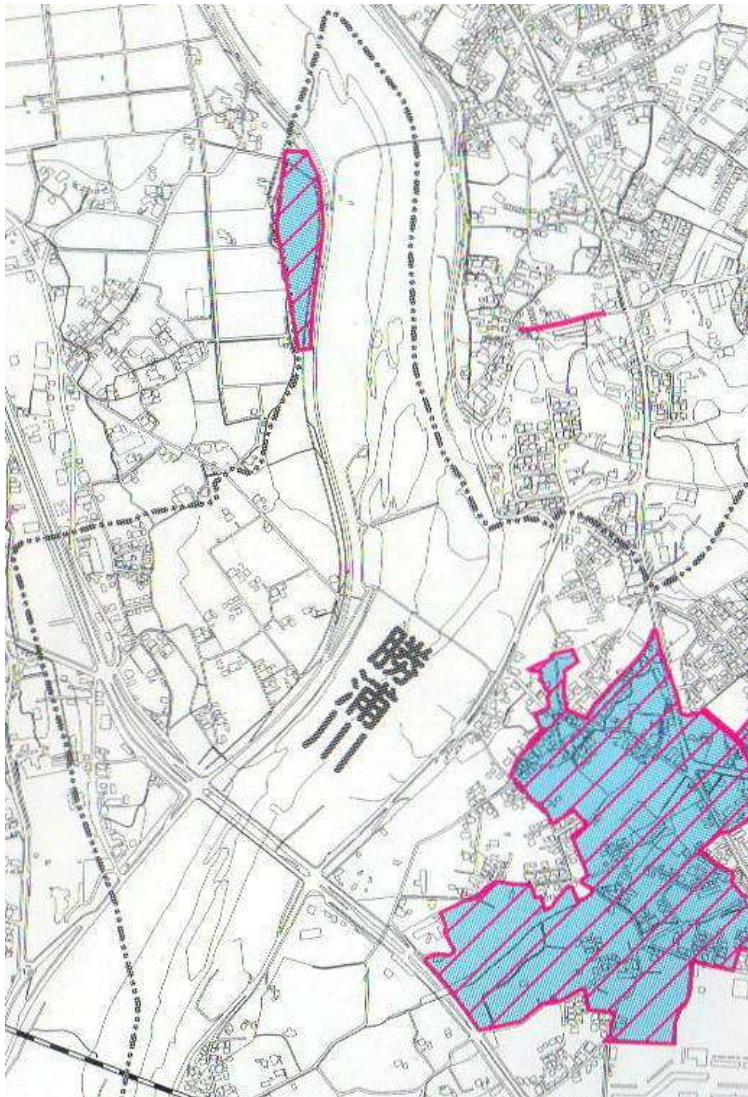
小松島市 734.5mm（7月30日8時30分～8月7日8時30分）

福原旭 697mm（7月30日0時～8月6日24時）

（イ）勝浦川水位（江田水位局）

最高値 3.82m（8月3日17時40分）

はん濫警戒情報（8月2日13時45分）



(引用：小松島市ハザードマップ)



凡例

浸水範囲（2014 年）



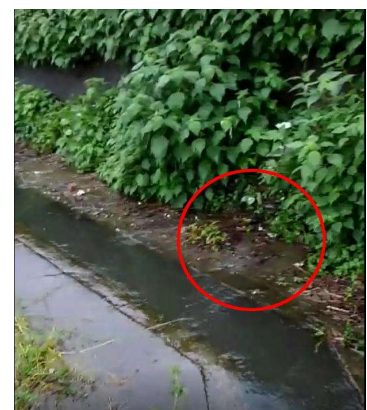
5-1-3 令和2年10月 台風14号

〈概要〉10月4日21時、南海洋上で熱帯低気圧が発生し、10月5日9時に台風となり、10月7日15時に「強い勢力」となった。その後日本に接近した後南下し、10月12日9時に小笠原近海で熱帯低気圧に変わった。

- ・ 福原旭 175.5mm
- ・ 正木ダム放流量 最大放流量 毎秒 215.2 m³
(10月10日4時50分)
- ・ 勝浦川水位（江田水位局） 約 2.5m
- ・ 漏水
 - 1) 勝浦川右岸堤（江田町字大江田 130 番地先 16ヶ所）
 - 2) 勝浦川右岸堤（江田町字腰前 120 番地先 15ヶ所）

* この漏水発覚により、徳島県では左岸 1ヶ所、右岸 3ヶ所の地質調査を実施済み。

(参考：気象庁発表資料，徳島県，小松島市資料)



5-2 想定される災害

5-2-1 南海トラフ地震を想定します。

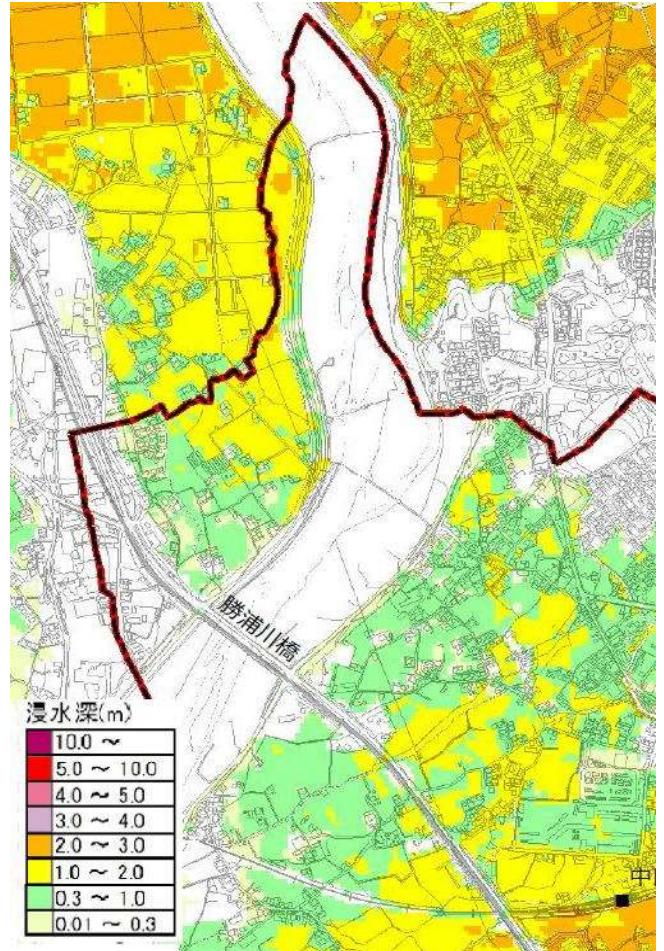
南海トラフは約 100 年～ 200 年の間隔で蓄積されたひずみを解放する地震が発生しており、近年では、昭和東南海地震（1944 年）、昭和南海地震（1946 年）がこれに当たります。これらの地震が起きてから 80 年近くが経過しており、南海トラフにおける次の大地震発生の可能性が高まっています。

(1) 津波浸水想定図

- ・ 想定地震 南海地震の巨大地震
- ・ 地震の規模 マグニチュード 9クラス
- ・ 構造物の取り扱い
 - 1) 河川・海岸等の構造物、盛土造物（土で築造された堤防等）は、75%沈下。
 - 2) コンクリート構造物は、破壊等
- ・ 右図は、浸水の深さに応じて色分けしています。

江田町では、0 m～ 2m 未満の地域がほとんどですが、字沖須賀地域の一部には、2m～ 3m の最大浸水が想定されています。（右図）

（堤が 75% 沈下した想定である。市確認）



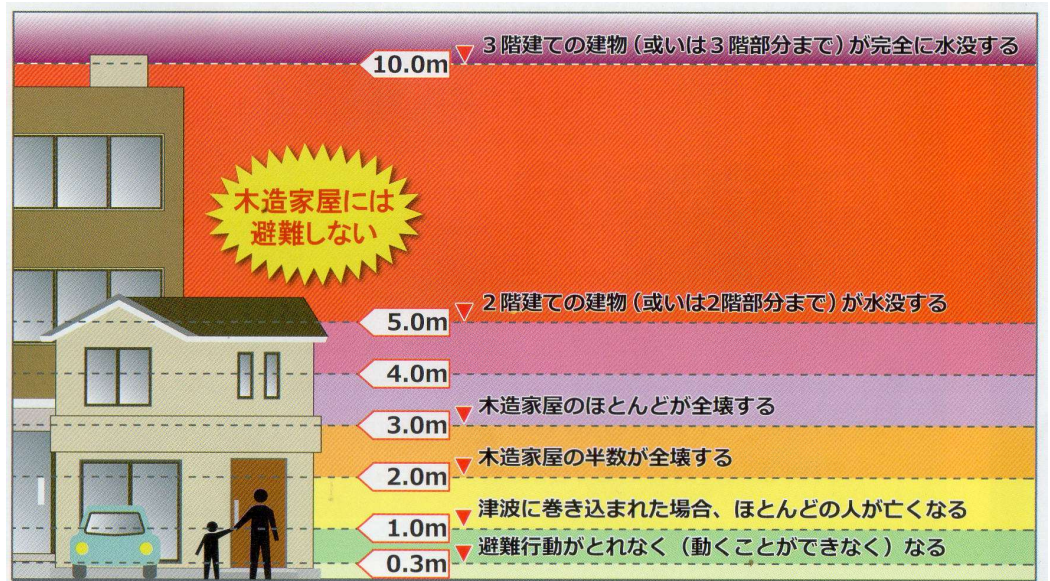
（引用：徳島県津波浸水想定）

(2) 震度分布

江田町全域 震度 7

- ・ 液状化の危険度 極めて高いと想定されています。

(3) 浸水による危険度(右図)



（引用：小松島市ハザードマップ）

5-2-2 勝浦川氾濫，浸水を想定します。

勝浦川両岸は昔より大雨時には堤からの漏水を農家の人等が確認しております。

令和2年10月台風14号で右岸堤で31ヶ所の漏水が発覚し，県が左岸1ヶ所，右岸3ヶ所の地質調査を行っておりますが，県の説明では堤底付近に岩盤はなく，かなり深い所にあるため，強固な堤とは言えません。

(1) 勝浦川氾濫，浸水想定区域図

① 勝浦川流域 24時間総雨量

1,115mm (想定最大規模)

右図で浸水深に応じて色分けしておりますが，江田町では，0.5m~3mがほとんどであります。沖須賀の一部では3m~5mが想定されます。

② 勝浦川流域 24時間総雨量

516mm (計画規模)

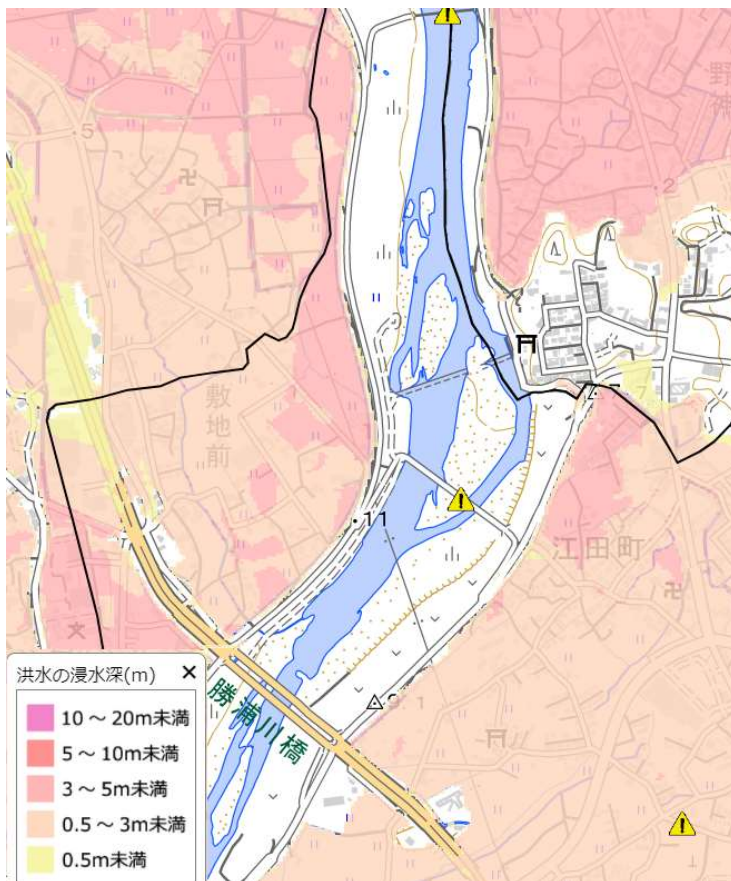
川西地区では，0.5m~3m，江田地区では，0.5m未満の所，0.5m~3mの所，浸水無しの所もあると想定されます。

③ 浸水継続時間

勝浦川流域の24時間総雨量

1,115mmの場合，浸水継続時間は，

現時点の勝浦川河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案し，川西地区ではほとんどが，12時間から24時間浸水し，川東地区（字腰前，字大江田）ではほとんどが24時間浸水しますが，一部12時間未満の地域も想定されます。



(引用：小松島市ハザードマップ)



勝 浦 川

6

平常時の活動

6-1 個人・家族で知ること

6-1-1 南海トラフ地震を知る。

- ・ 江田町全域で震度7が想定されます。
- ・ 液状化危険度は極めて高い。
- ・ 津波による最大深は0.3m～2.0m

「小松島市津波ハザードマップ」で自分の住まいの浸水状況を確認しましょう。

6-1-2 勝浦川氾濫・浸水を知る。

- ・ 勝浦川の氾濫危険水位は4.7mです。
- ・ 河川監視カメラの新設（令和3年秋）

〈徳島県水防情報〉

パソコン・スマートフォン・携帯電話・共通 URL

<https://www.kasen.pref.tokushima.lg.jp/>

- ・ 氾濫による浸水深は0.5m～3mがほとんどですが、字沖須賀の一部では3m～5mとなります。
- ・ 浸水継続時間は、12時間～24時間ですが、一部12時間未満の所もあります。

「小松島市洪水・土砂災害ハザードマップ」で自分の住まいの場所の想定を確認しましょう。



河川監視カメラ

6-1-3 住宅やブロック塀の耐震化，家具の転倒防止。

- ・ 自宅の耐震化をしましょう。また，家具の転倒防止も実施しましょう。家や家具に潰されるだけでなく，避難経路が通れなくなるかも知れません。

（引用：西黒部まちづくり協議会「防災計画書」）

6-1-4 災害の状況や避難を判断するための情報として どのようなものがあるか知っておきましょう。

- ・ 災害の状況によって，小松島市から避難情報が発令されます。洪水による災害の場合，主な河川ごとに，それぞれの警戒レベルに相当する洪水予報や洪水警報が，気象庁や県（河川管理者）から発表されます。警戒レベルの段階にそって，「あなたがとるべき行動」は何か確認しておきましょう。



6-1-5 非常持ち出し袋を家族人数分準備

江田町自主防災会会報第4号（令和3年6月発行）
「非常持ち出し品チェックシート」を参考にしてください。または「ハザードマップ（最新版）」をご覧ください。



6-1-6 家族防災会議をする。

災害時の連絡手段や避難場所、避難経路などを話し合っておきましょう。

連絡手段として災害用伝言ダイヤル「171」の利用。



6-1-7 近所付き合い。

日頃から近所で避難について話し合ひましょう。

6-1-8 ファミリータイムラインを作ってみましょう。

台風や大雨は、テレビやインターネットなどから得る気象予報や注意情報などで、事前に状況を知ることができます。

これらの情報をもとに、洪水が発生する前に、早めに避難することができれば、**あなたやあなたの家族の大切な命を守る**ことにもつながります。

「ファミリータイムライン」は、洪水などの災害が起きたとき、あなたやあなたの家族が、安全に避難するための「**家族の避難計画**」です。

いざというとき、あせらず安全に避難できるよう、いつ、どこへ、どうやって避難するか、家族みんなで話し合いながら、「ファミリータイムライン」を作ってみましょう。

できあがった「自家のファミリータイムライン」を家族が集まる居間等に掲示し、日々見ることにより、災害時の行動に役立てると共に、災害に対する意識向上に努めて頂きたいと思ひます。

今後、コロナ感染状況を見ながら研修会を開催いたしますので、是非ご参加ください。

- ・ 徳島県ではファミリータイムラインの作成手引きを作成し、HPで公表しています。 「徳島県 ファミリータイムライン」で検索
- ・ 台紙とシールが必要な方は、下記に連絡してください。

小松島市危機管理・感染症対策推進課 電話 0885(34)9014

次ページに「ファミリータイムライン」の一般例（A4に縮小）を示してあります。家族構成や避難所までの距離などにより異なります。各家庭に合った物を作成しましょう。

ファミリータイムライン

作成年月日 年 月 日 ※必要に応じて見直しをしよう!

「台風が発生」してから「勝浦川が氾濫」するまでの備えは万全ですか?
 雨の降り方や、時間(暗くなるのはいつ頃になりそうですか?)、状況に合わせて命を守る行動をしよう!

| | 避難所の名称 | 電話番号 | 備考 |
|---|--------|------|-------|
| 1 | | | 収容人数等 |
| 2 | | | |
| 3 | | | |
| 4 | | | |

| 時間軸 | 気象・水象情報 | 防災情報 避難情報 | 主な備え(私の行動) |
|-------------------------------|--|----------------------------------|---|
| 備えまでのおおよその時間! 台風発生前 | 平常時 | | 平時 事前の備え ハザードマップで身の回りで起こる災害をチェックする 避難場所や避難経路について決めておく 食料や水などの防災用品を用意しておく 家族で連絡の取り方を決めておく |
| 3日前 | 台風発生(警報級の可能性) どの台風か確認しよう。まだ雨や風は強くないね。 | 早期注意情報:気象庁 | 警戒レベル 1 災害への心構えを高める テレビやパソコン等で台風情報や気象情報を確認する いつ頃避難するか家族で相談する 不足している防災用品を買い足す 車にガソリンを入れておく 停車時に必要なもの(カセットコンロ、ガス、ライトラジオ等)を確認しておく 病院で薬をもらう 避難所に持っていくものをリュックに入れる 雨具・ライフジャケット 長い棒を用意する |
| 1日前 | 大雨注意報発表:気象庁 洪水注意報発表:気象庁(警戒レベル2相当) 住民へ注意呼びかけ 大雨警報発表:気象庁 洪水警報発表:気象庁(警戒レベル3相当) 水防団待機水位到達 江田 水位:2.4 m 氾濫注意水位到達 → 勝浦川 氾濫注意情報 江田 水位:3.4 m 避難判断水位到達 → 勝浦川 氾濫警戒情報 江田 水位:4.1 m 高年齢者等避難 | 警戒レベル 2 自らの避難行動を確認 | テレビやパソコン等で台風情報や気象情報を確認する 高齢者等避難の発令を待つ 早めに車で避難する 携帯電話を充電する テレビやパソコン等で雨量や川の水位を確認する ポリタンクに水を貯めておく 避難に備えて早く帰る 通行止め情報を確認する |
| 1時間前 | 氾濫危険水位到達 → 勝浦川 氾濫危険情報 江田 水位:4.7 m 避難指示 | 警戒レベル 3 危険な場所から高齢者等は避難 | テレビやパソコン等で雨量や川の水位を確認する 避難を始める 避難指示の発令を待つ 雨具やライフジャケットを着る 危険な場所から高年齢者等は避難 |
| 0時間前 | 氾濫発生 緊急安全確保※ ※必ず発令されるものではありません。 | 警戒レベル 4 危険な場所から全員避難 | リュックを背負って避難を始める ガスの元栓を締めブレーカーを落とす 危険な場所から高年齢者等は避難 |
| | | 警戒レベル 5 命の危機 直ちに安全確保! | より安全な場所に避難する 命の危険 全確保! |

NG行動

- 長靴を履いて避難する
- 浸水発生後に車に乗って避難する
- 近道なので川沿いや地下道を通して避難所へいく
- 川を見に行って水位を確認する

* 時間軸は目安になります。* 気象庁が発表する大雨注意報等の発表時間はイメージで記載しています。



徳島県の通行規制の情報は、こちらで確認できます。
徳島県県土防災情報



河川の水位は、こちらで確認できます。
徳島県水防情報 (スマートフォン向け)



徳島県の避難所の情報は、こちらで確認することができます。
徳島県総合地図提供システム

6-2 江田町自主防災会ですること

6-2-1 防災意識の高揚。

江田町が抱える自然災害のリスクを全住民に知ってもらう。

6-2-2 町内見回りの実施。

常日頃から災害発生時の危険箇所などをチェックし，新たに危険箇所が発覚したら自主防災会定例会で発表，審議し，自主防災会会報等で知らせる。



6-2-3 防災訓練の実施。

江田町自主防災会が中心となり，消防団等と連携しながら，基本的には年1回，テーマを決めて実施する。



6-2-4 安否確認の方法の確立と訓練の実施。

一人世帯の高齢者，要支援者等の安否確認は災害発生時に重要な事柄です。要支援者には個別避難計画（内容は秘密厳守のこと）をつくる手助けをし，相手の意向もよく聞きながら役員会でできることを考え，訓練を行う。



7

避難情報と河川の水位情報

7-1 避難情報

| 避難情報 (警戒レベル) | | | | 河川の水位や防災気象情報 (警戒レベル相当情報) | | |
|--------------------------|----------------------|--------------------|--------|-----------------------------|--------|--------------|
| 警戒レベル | 状況 | あなたがとるべき行動 | 避難情報 | 警戒レベル相当 | 水位到達情報 | 防災気象情報 |
| 5 | 災害発生又は切迫 | 命の危険 直ちに安全確保！ | 緊急安全確保 | 5相当 | 氾濫発生 | 大雨特別警報 |
| ~~~~<警戒レベル4までに必ず避難！>~~~~ | | | | | | |
| 4 | 災害のおそれ高い | 危険な場所から 全員避難 | 避難指示 | 4相当 | 氾濫危険水位 | - |
| 3 | 災害のおそれあり | 危険な場所から 高齢者等は避難 | 高齢者等避難 | 3相当 | 避難判断水位 | 大雨・洪水警報 |
| 2 | 気象状況悪化 | 自らの避難行動を 確認 | - | 2相当 | 氾濫注意水位 | 大雨・洪水 注意報 |
| 1 | 今後気象 状況悪化の おそれ | 災害への心構えを 高める | - | 1相当 | - | 早期注意情報 |

7-2 勝浦川の基準水位

| 河川名 | 基準 水位 観測所 | 基準水位 | | | |
|-----|-----------------|----------------|---------------|---------------|---------------|
| | | 水防団待機 水位(m) | 氾濫注意 水位(m) | 避難判断 水位(m) | 氾濫危険 水位(m) |
| 勝浦川 | - | 警戒レベル2相当 | 警戒レベル3相当 | 警戒レベル4相当 | |
| | 江田 | 2.4 | 3.4 | 4.1 | 4.7 |

7-3 避難行動のヒント

① 平常時は 【事前の備え】

日ごろから、**防災に対する意識**を持っておくことが必要です。

洪水などの災害に備えて、あなたはどんな準備をしておきますか？食料や水など**防災用品を準備**したり、**どこに避難**するかなどを日ごろから、家族みんなで**話し合**って確認しておきましょう。

ハザードマップを見て、身の回りでどんな災害が起きやすいか、確認しておきましょう。

② 警戒レベル1になったら 【災害への心構えを高める】

台風の接近や大雨の予報などがあったら、**災害に対する準備**をはじめましょう。

テレビ・ラジオやインターネットなどで**気象情報を確認**したり、防災用品や貴重品の**持ち出し袋**などを確認しておきましょう。

万一のことも考え、病院で**薬**をもらっておいたり、家のまわりで飛ばされやすいものを**片づけ**たりしておきましょう。

水道や電気などライフラインが途切れるかもしれません。**飲み水**を確保したり、**停電の時に必要なもの**（ライト、ラジオ、カセットコンロ等）もそろえておきましょう。

③ 警戒レベル2になったら 【自らの避難行動を確認する】

台風が近づき雨や風の影響がはじめたら、避難する準備をはじめましょう。避難情報が発令されるのを待つだけでなく、テレビ・ラジオやインターネットなどを利用して、近くの川の水位や雨量を確認するなど、積極的に情報を集めましょう。

歩いて避難する場合は、雨具やライフジャケットの他、水の深さを探るための長い棒も用意しておきましょう。

携帯電話の充電もしておきましょう。

④ 警戒レベル3（高齢者等避難）になったら 危険な場所から高齢者等は避難

高齢者や歩行が困難な方など、避難するとき他の人から支援が必要な人がいる場合は、避難に時間がかかります。直ちに避難を開始しましょう。

車で避難する場合は、早めに安全に避難しましょう。水に浸かって通れない場所があるかもしれません。通行止め情報などを確認してから避難しましょう。

⑤ 警戒レベル4（避難指示）になったら 危険な場所から全員避難

全員避難を始めましょう。

過去に洪水被害があった区域など危険な場所からは、出来るだけ離れたところへ避難しましょう。

ガスの元栓を締め、電気のブレーカーを落としておきましょう。施錠して安全に避難しましょう。

⑥ 警戒レベル5（緊急安全確保）になったら 命の危険 直ちに安全確保！

洪水氾濫など、すでにどこかで災害が起きている状況です。直ちに命を守る行動をとってください。避難が遅れた場合は、可能な限り、高台や丈夫な建物などの安全な場所に避難しましょう。

7-4 やってはいけない危険な行為

× 長靴をはいて避難する

長靴は、中に水が入ると重くなり歩きにくくなったり、動きがとれなくなる場合があります。できるだけ運動靴など歩きやすい靴をはいて避難するようにしましょう。

× 浸水発生後、車に乗って避難する

アンダーパスなど水に浸かっているところを、無理やり車で通過しようとする、途中で車が止まり身動きが取れなくなります。車で避難するときは、十分に注意し安全なルートを選ぶようにしましょう。

× 川を見に行つて水位を確認する

水の流れが強かったり、深みにはまってしまうと簡単に流されてしまう危険性があります。決して、川の様子を見に行かないようにしましょう。

× 近道なので川沿いや地下道を通つて避難所へいく

河川の状況や浸水している状況は、刻一刻と目まぐるしく変化します。大丈夫と以为ていても、急に水位が上がったする可能性もあります。

近道だからといって危険な状況に変化しやすい場所は避けるようにしましょう。

(7-3,7-4 資料提供：徳島県県土整備部水管理政策課水害対策室)

発災後の活動

8-1 発災直後の行動(地震)

地震発生直後は、まずは**自分自身の命**を守らなければいけません。

地震による人的被害の多くは、揺れによる家具等の倒壊、落下物による負傷です。

身を守るためには、周囲をよく見る、落下物から**離れる**、**低くなる**、**頭を守る**ことが効果的です。



(提供 効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議)

自主防災会役員や消防団員も被災者となります。共助活動のためにも、自分や家族が負傷しないようにしましょう。(引用：西黒部まちづくり協議会「防災計画書」)

《とにかく命を守る！》

津波影響開始時間及び最大波到達時間

| 小松島市本港 | 津波影響開始時間 | 津波初波 | 最大波 | | |
|--------|----------|---------|---------|-------------|-----|
| | -20cm(分) | 到達時間(分) | 到達時間(分) | 津波水位(T.P.m) | 備考 |
| | 27 | 41 | 201 | 5.5 | 第6波 |

8-2 発災直後の行動(勝浦川氾濫)

勝浦川氾濫直後は、地震同様自分自身の命を守らなければなりません。氾濫による人的被害の多くは、浸水による溺れ等であります。身を守るためには、避難に時間の余裕がある場合には、避難場所への水平避難を行います。特に勝浦川の沿岸(土手から100m程度の範囲)では大規模氾濫の際に、家屋の倒壊・流失をもたらすような激しい氾濫流および河岸浸食が発生するおそれがあるため、早めの水平避難を行います。

ただし、屋外の浸水がすでに始まっているなど屋外への避難が危険な場合には無理をせず、建物の2階以上の氾濫流と反対の部屋へ逃げるなどの垂直避難を行うこととします。

勝浦川の氾濫危険水位は4.7mです。

8-3 発災後の個人・家族ですること

8-3-1 家族の安否確認。

家族の安否確認だけでなく、隣近所の安否確認も忘れないようにしましょう。

8-3-2 火の始末。

プロパンガスを使用している場合、震度 5 弱以上の揺れをガスメーターが感知すると、自動的に遮断されるため、慌てて火を止めに行かないでください。

また、ろうそく等の裸火の場合火災発生リスクが高くなります。木造住宅が密集している地域のため、揺れが収まったら必ず初期消火に努めてください。

8-3-3 避難する。

電気器具のスイッチを切り、コンセントを抜きましょう。(感震ブレーカーの設備などを考えてみてはいかがでしょうか。)

電気のブレーカーやガスの元栓を切りましょう。

非常持ち出し袋を持参しましょう。

となり近所へも声をかけ避難しましょう。

(引用：西黒部まちづくり協議会「防災計画書」)

8-3-4 津波からの避難。

そのときできることに全力を注ぐ。より早く！より高く！避難しましょう。

津波避難の三原則

1「想定を信じるな」 2「最善を尽くせ」 3「率先避難者たれ」

(*「釜石市津波防災教育のための手引き」参照)

8-3-5 勝浦川氾濫からの避難。

勝浦川の氾濫は地震とは異なり事前に避難準備ができます。

小松島市からの避難情報、気象庁の「キキクル」、新たに江田町勝浦川左岸堤に新設された「河川監視カメラ」等で確認し、「ファミリータイムライン」を活用して、一時避難場所や地区外の親戚等へ早めに避難を考えましょう。

* 小松島市ホームページ「防災情報リンクページ」に上記の情報などを取りまとめられています。

URL は <https://www.city.komatsushima.lg.jp/docs/bousailink.html>

(河川ライブカメラ映像、徳島県内の河川や土砂災害に関する情報、気象庁が提供する情報、避難情報に関する情報など)



8-4 発災後の両地区ですること

1) 津波・地震について

自主防災会の役員や消防団員も被災者になるかもしれません。まず、自分・家族の安全を確認後、周囲の人にも声かけをし、互いに助け合いながら高齢者等を一時避難場所まで誘導・支援に努める。(二次災害には特に注意する。) 要支援者には、事前に作成した個別避難計画に従って支援に努める。



2) 洪水について

8-3-5 のとおり、事前に避難準備ができることから、要支援者には津波・地震同様支援に努める。

津波・大雨・土砂・高潮時の一時避難場所・避難目標地点

* ㊦ = 小松島市内, ㊧ = 徳島市内

* □番号は津波ハザードマップに掲載されている避難場所番号

9-1 津波時の一時避難場所・避難目標地点

| | | |
|----------------------------|---|--------------------|
| 川 西 地 区 | 川西地区周辺の一時避難場所 ～津波時～ | |
| | ㊦ 勝浦川橋北詰高台 (ちゃんこ屋, ラーメン屋駐車場) 20 | 江田町字敷地前 76-16,78-4 |
| | 以下 <u>徳島市</u> の一時避難場所 ～津波時～ | |
| | ㊧ 勝占中部コミュニティセンター | 徳島市勝占町中須 76-2 |
| | ㊧ 南部中学校 | 徳島市勝占町外敷地 62 |
| | ㊧ 第17柴田マンション | 徳島市勝占町外敷地 16-20 |

| | | |
|---|---|---------------|
| 川 東 地 区 | 川東地区周辺の一時避難場所～津波時～ | |
| | ㊦ 碩心館病院駐車場周辺 21 | 江田町字大江田 44-1 |
| | ㊦ 勝浦川橋南詰高台 (セブンイレブン周辺) 28 | 江田町字大江田 12-5 |
| | ㊦ 千代小学校 15 | 中田町奥林 29 |
| | ㊦ 小松島西高等学校 14 | 中田町原ノ下 28-1 |
| | ㊦ 泰地総合センター 23 | 中郷町字桜馬場 103-1 |
| | ㊦ 県営住宅小松島団地 (1～3号棟) 22 | 中郷町字西野 1-29 |
| | 川東地区周辺の避難目標地点～津波時～ | |
| ㊦ 旧徳島ゴルフ練習場南付近 18 | 中田町西山 | |
| ㊧ 徳島市大原町千代ヶ丸高台付近 19 | 徳島市大原町字千代が丸,千代ヶ丸山,川添 | |

注意： 避難目標地点とは津波の危険から避難するために、避難対象地域の外に定める場所
で、とりあえず生命の安全を確保するために避難の目標とする地点をいう。

9-2 大雨・土砂・高潮時の一時避難場所

○ 江田町川東・川西両地域とも

| | | |
|----------------------------------|---|---------------|
| 江 田 町 全 域 | 江田町周辺の初動開設一時避難場所～大雨・土砂・高潮時～ | |
| | ㊦ 泰地総合センター 23 | 中郷町字桜馬場 103-1 |
| | ㊧ 勝占中部コミュニティセンター | 徳島市勝占町中須 76-2 |
| | 災害の状況によって開設される一時避難場所～大雨・土砂・高潮時～ | |
| | ㊦ 千代小学校 15 | 中田町奥林 29 |
| | ㊦ 小松島西高等学校 14 | 中田町原ノ下 28-1 |
| | ㊧ 南部中学校 | 徳島市勝占町外敷地 62 |

* 千代小学校, 小松島西高等学校, 南部中学校は, 常に開設されるわけではな
いのでご注意ください。

* 市からのエリアメールや避難情報を見て避難しましょう。

一時避難場所地図・避難経路図

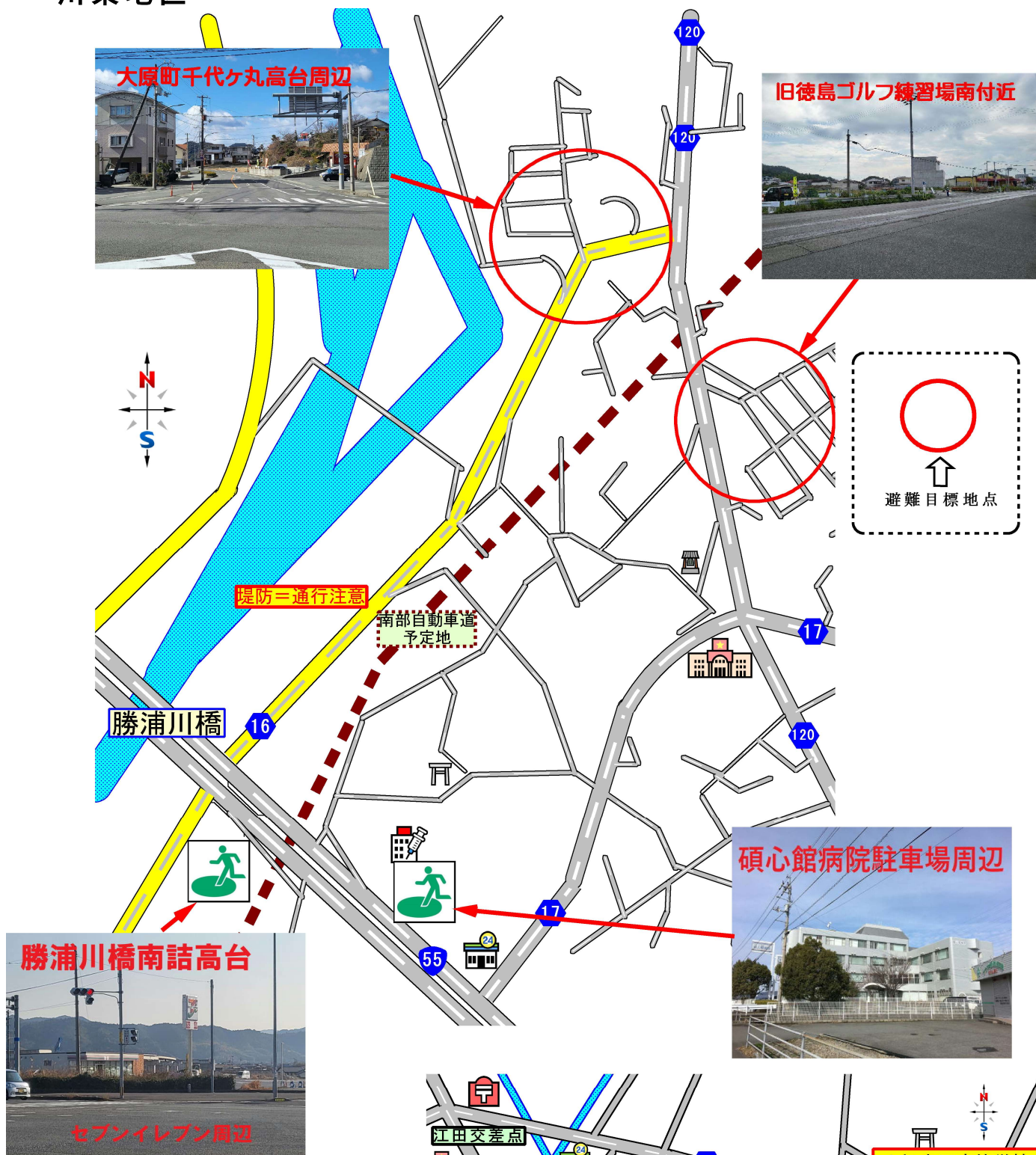
自宅，勤務地など想定される居場所からの**避難ルート**を可能な範囲で描き込んでおきましょう。（おおまかな地図ですので，必要な道，用水路，目印等を付け加えてください。）

地震，津波，豪雨の際，勝浦川堤防を利用しての避難は，災害が差し迫って決壊の恐れがある場合は避けてください。

川西地区

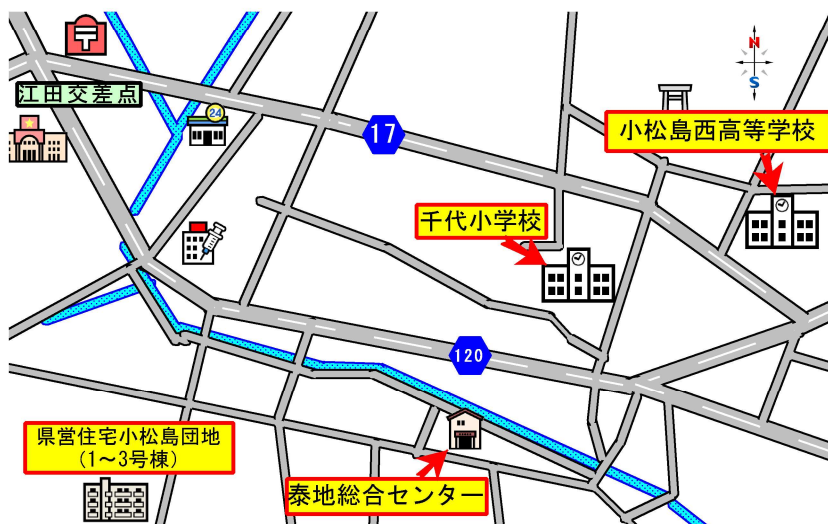


川東地区



一時避難場所までの道路については、各自宅から一番近くて安全に避難できる避難場所を決め、途中に危険な場所がないかを把握し、高台へ逃げましょう。

また自主防災会が実施する避難訓練に積極的に参加しましょう。



10-1 津波避難における風雨対策について

江田町両地域とも平坦な地形であるうえ，近くに避難できる公共施設や大きなビルディングもないため，夜，豪雨の中避難する場合には，町指定の高台または市指定の屋外の避難場所において，カッパを着て過ごさなければならないのが現状であるため，避難時における風雨対策が課題と考えています。

10-2 津波避難について

小松島市が指定した川東地区の津波避難場所の「碩心館病院駐車場周辺」，「勝浦川橋南詰高台（セブンイレブン周辺）」は江田町の西に位置し，江田町東側の住民の避難，特に高齢者，子ども，身体障がい者等は，避難訓練の際には，移動に相当の時間を要したことから，その対策が課題となっています。

10-3 液状化対策

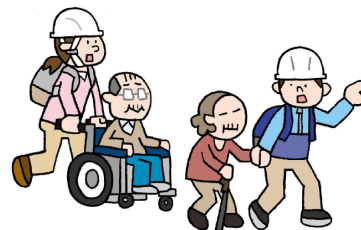
勝浦川の右岸堤で漏水が見つかり，左岸堤でも漏水の可能性があるため，徳島県では地質調査を実施しましたが，地下 20m で岩盤に当たらず，また，川東地区の高速道路橋脚工事では平均地下 40m になって岩盤が現れる地層です。南海トラフ地震では最大震度 7 が想定され，液状化の危険度はきわめて高いと想定されております。液状化が発生すると，建物が沈んだり，マンホールや埋設管が浮かんできたり，地面全体が低い方へ流れ出すといった現象が発生することがあります。この様なことから地震発生時には，平時の訓練のとき以上に避難に時間がかかる可能性があり，平常時から早めに避難を開始するための準備を整えておくことなどが課題となっています。

10-4 高齢者の一人世帯，高齢者の身体障がい者等の災害時の避難について

災害対策基本法改正により作成が義務付けられた避難行動要支援者名簿を，平時から民生委員や町内会に提供するとともに，避難の経路や場所をあらかじめ決める「個別避難計画」の作成について，市町村に努力義務が課されています。

令和 3 年 12 月定例会議において，地元議員により「災害時の要支援者対策」についての一般質問がありましたが，市内には約 1600 人の避難行動要支援者がおり，その内約 400 人については個別避難計画を作成しているとのことでありました。しかし，江田町に何人の要支援者がいるのか自主防災会では現在十分把握できておりません。

今後，要支援者の意向が確認された避難行動要支援者名簿が提供された時には，個別避難計画の作成についても市と連携，協議し，「何ができるのか」，「何ができないのか」を考えていくことが，大きな課題となっています。



11 今後の活動目標

江田町自主防災会が再結成されて浅年であります。今後避難訓練等を継続するとともに、地元の状況を住民に知らせ、認知してもらい、災害時には自らが行動できるよう住民啓発活動を進めなければなりません。また自力で避難できない者等の避難をどうするか（避難要支援者への対応）といった大きな課題も残されています。

11-1 やるべきこと、できることを考える。

【個人・各家庭】

①すぐできること→②少し頑張ればできること→③困難なこと

【地区・自治会】

①すぐできること→②少し頑張ればできること→③困難なこと

【行政（市役所・県・国）】

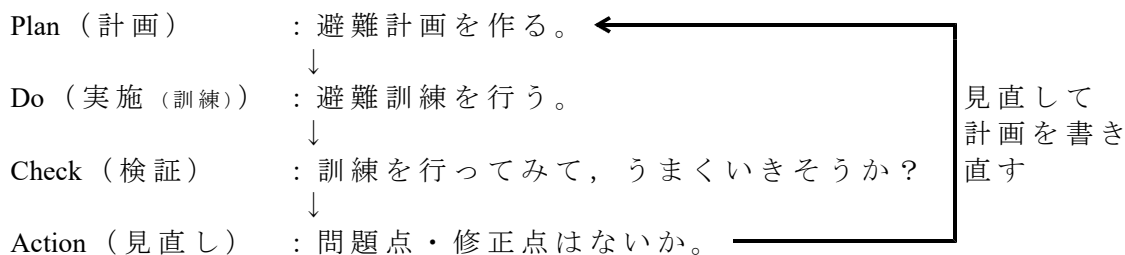
これからは、個人や家庭、江田町がそれぞれできることに対して、優先順位を持って取り組みます。それでも困難なことは市に協力を求めます。

それぞれの立場で、「できない理由を考えるのではなく、今のプロセスでできること」を考え、積み上げていきます。（引用：西黒部まちづくり協議会「防災計画書」）

11-2 継続的な活動のスタート(PDCAサイクル)

課題はまだまだあり、まちの状況は年々変化していきます。

本計画策定を継続的な活動のスタートとして、PDCAサイクルをまわすことで、災害に強い江田町を目指します。



（引用：西黒部まちづくり協議会「防災計画書」）

11-3 問題、課題、新たに生じた問題等が解決した時は、「江田町自主防災会会報」及び「江田町自主防災会ウェブサイト」で町民に周知します。

江田町自主防災会ウェブサイト

<https://zisyubou.web.fc2.com>

QRコード→



【参考文献】

三重県松阪市西黒部まちづくり協議会「防災計画書」（平成31年2月）

気象庁発表資料

「岩手県釜石市津波防災教育のための手引き」（平成25年2月）

効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議「3つの安全行動イラスト」

徳島県「ファミリータイムライン」・避難情報と河川の水位情報・浸水情報

小松島市「ハザードマップ」



小松島市江田町地区防災計画

《地震・津波・洪水について》

令和5年2月 印刷

令和5年3月 発行（非売品）

編集兼発行者 小松島市江田町自主防災会

印刷所 〒617-0003 京都府向日市森本町野田3-1

株式会社プリントパック